

# めぐみ厚生センター恵友会 会報

郵便振替  
事務局  
めぐみ厚生センター恵友会  
〒840-2223 佐賀市東与賀町大字飯盛1584 (めぐみ園内)

口座番号: 01770-6-12389

発行人 鳴原 貞雄

第274号

## めぐみ厚生センター恵友会

法人本部	0952-25-2797
めぐみ園	0952-34-7722
富士学園	0952-63-0107
ウイズ富士	0952-51-0063

発行人 鳴原 貞雄

【新年挨拶】

## 『東北震災で思うこと』



恵友会  
会長  
鳴原 貞雄



昨年三月十一日の大地震時を少し考えてみたい。

私はその時、関係している財団法人の理事会があり、事務所のあるスイミングクラブの二階で、他の七人の理事共々会議中だった。”グラッ”と最初の揺れが来たいつもの地震と違ひ建物はキシミ、グラグラゆらゆら揺れが止まらないのである。何人かはテーブルの下に入り揺れの止まるのを待った。

窓の外を見ると電柱と銀杏の木が触れ合わんばかりに交錯し乍ら揺れていた。誰かが「プールはどうなつていて」と云つたので私もヨロヨロしながらプールが見える所まで行くと、これが又凄い、実験場のプールで大津波を見ているように、プールの水は片側に溢れ、こぼれ、壁に当たつて打ち返していた。幸い、指導員の指導が良く、既に全員退避していたので被害は無かつた。

地震に遭い、線路上に下り線路上を歩いて自宅まで六時間かかつたと云う。

テニスクラブの者は六本木から千葉稻毛の自宅まで、一般道を歩いて十三時間、家に着いた時は翌日の朝だったそうだ。途中の大変なことは推して知るべしだ。私の自宅はと云うと、佐賀の記念の置物唐獅子、器類、博多人形の破損等位で済んだ。

新浦安に住んでいる長女は家が液状化で傾き給排水が出来なくなり、一家六人は地震直後から私の家に避難してきた。夫婦二人の家もしばらく大家族になつたのである。

関東では三十年以内に大地震が発生する確率は八十パーセントだと新聞は云っている。六百年譜や四百年譜が飛び交うと、ゆつくりペースに考えてしまう。時間が経つと忘れがちな出来事だが、安全で安心の生活を求めるなら、それだけの心構えが必要だと思う。

年頭の挨拶には適切とは思わないが「災害は忘れない内にやつて来る」と思い、私事で恐縮乍ら敢えて参考にして戴けたら、次に来るであろうと云われている東南海地震にも対応策が取れ被害も小さくて済むかも知れません。

今年も皆様に安らかな生活があることを念じ年頭の挨拶と致します。

べると対応策も不充分と云いたい。（私が住んでいた当時を考え乍ら書いているので、当たっていないかも知れない）災害が起きるといつも想定外と云う。地球は人間が汚す事に因り自然現象が変化し年々異状気象が生じて来ている。強風でも大雨でも大干伐でも想定外のものがやつて来ているのだ。過去の災害を勉強して次に備えて役立てる、これが充分為されていれば想定外のものは少なくなる。それでも想定外の災害は有ると考えなければならない。想定外は勉強不足であると云うことを肝に命じておかなければならぬ。

こんな行動が出来る程、揺れは長かつた。勿論即、会議は中止。各理事は自分の会社や自宅に戻った。地震直後は停電となり電車は止まり道路の信号も作動しなかつた。加えて電話は固定も携帯も全く通じなかつた。私の長男は電車の中で比

九州は地震が少ない。従つて関東に比



新しい年を迎えるにあたり、会員の皆様にはお喜びを申し上げます。昨年は恵友会三十周年を多くの方と共に祝うことが出来、心より感謝いたします。

本年も、次の世代に向けて進化する年になるよう、多種多彩な作品、ご意見を頂戴出来ればと思います。一年間宜しくお願ひ申し上げます。

(事務局)

前田英知子、村岡洋子  
塩野秀男、久留米教会、無名氏

(敬称略)

◎ご寄付  
ありがとうございました

〔平成二十三年十二月二七日現在〕

国武浜子、矢川信子、島田史子  
宮地美由紀、松本啓子  
富永俊夫、小渕八千子  
牛島康之、永島喜三郎

(敬称略)

◎会費納入  
ありがとうございました

〔平成二十三年十二月二七日現在〕

国武浜子、宮地美由紀、松本啓子

◎新入会  
ありがとうございました

〔平成二十三年十二月二七日現在〕  
(敬称略)



## 「畠語」 大金通浩

### 【畠語の種類】

一、古書の畠語。

二、同一文字の畠語。

三、擬音(声)語。(笑う、嗤う)

四、擬態語

五、視覚

(喜ぶ、見る、視る、眺める)

畠語という言葉を見聞したことありますか? 読み方は「じょうご」と読みます。畠語は同一の単語、または語根を重ねて一語とした語と広辞苑では説明しています。例えば「我々」「ひらひら」「くろぐろ」の類です。

私が畠語に興味を持ったのは、言葉の意味を知らなかつたからです。そこで、参考文献を図書館で探したが、見つける事が出来なかつた。世の中は広いと思ったのは、畠語を研究している人が判りました。サラリーマンを続けながら、畠語の研究をして長年の研究成果を、自主出版二千部を発行した人が存続在した事です。その内の一冊の本を入手することが出来ました。なにせ二十年前の本を探すには根気しかありません。自主出版には出版社が無いことです。自主出版の検索は出来ません。自ら出版ですから、一般的の書店にも陳列されません。

入手した時は嬉しかつた。念のために、本の最終ページを確認したら出版社ではなく、印刷所の名称が記してありました。昭和四八年発行(一九九〇年)「畠語の研究」著者・熊谷忠三郎氏です。以下、「熊谷忠三郎氏」の著書より一部を紹介いたします。

由来日本語には「語呂がい」とか「語呂合わせ」とかいう言葉があるが、口をついて出る言葉の調子が、所謂「すらすらした口調」のものと、短歌を中心に俳句、狂歌、民謡、川柳、童謡の区別なく数々の畠語が挿入され利用されている。

明暗その他の対照的な使い分けなどにも、単純表現よりは畠語の繰り返し調の方が、「話す言葉」「記す言葉」の中に、滑らかに表現を溶け込ませるのに役立つている。

会員・大金通浩様のお便りを紹介します。

### 【表A】

行 語数	あ 26	あ 49	か 49	か 35	か 39	か 59	か 53	か 43	か 30	か 28	か 16	か 12	か 55	お 42
ん ー	わ 16	ら 8	や 18	ま 27	は 24	な 18	た 18	ち 39	し 59	す 23	せ 28	と 11	こ 25	お 42
	ゐ ー	り 15	い ー	み 15	ひ 37	に 9	ぬ 5	ふ 25	ぬ 5	つ 23	て 21	と 11	こ 25	お 42
	う ー	る 3	ゆ 20	む 22	め 14	へ 11	ね 6	め 14						
	ゑ ー	れ 4	え ー	よ 38	よ 25	ほ 30	の 21	ほ 30						
	を ー	ろ 11	よ 38											

〔一列で色に関するものは〕

青々は、いちじるしく青いさま。  
あおあお  
碧々は、あおみどり。ふかいあおい色。  
あおあお  
赤々は、まつかなさま。  
あかあか  
アズキのこと。

碧々は、赤いさま。  
あかあか  
勢いがさかんなさま。

同一文字熟語で言海(辞書)に集約された三万九千語の中で、和漢の熟語は、二千七百余語になる。

では、同一文字熟語が広辞苑第四版では、語数としてどの位が記載されているのか二八百五十八ページを捲つてみました。中には見落としがあるかもしれません。が、調べた結果を、あ行(畠語数)→わ行までをまとめてみました。(表A)

